

6月 教室・行事予定

日	月	火	水	木	金	土
	1 いきいき 百歳体操 10:00~11:00	2	3 フォークダンス 10:00~12:00 クラフト手芸 13:00~15:00	4	5 さわやか 健康体操 13:30~15:30 南子ども会 19:00~20:30	6 休館日
7 休館日	8 いきいき 百歳体操 10:00~11:00	9 茶道 13:30~15:30	10 クラフト手芸 13:00~15:00	11	12 さわやか 健康体操 13:30~15:30 南子ども会 19:00~20:30	13 人権啓発 リーダー育成講座 10:00~11:30
14 休館日	15 いきいき 百歳体操 10:00~11:00	16	17 フォークダンス 10:00~12:00 クラフト手芸 13:00~15:00 巡回健康相談 13:30~15:30	18	19 さわやか 健康体操 13:30~15:30 南子ども会 19:00~20:30	20 休館日
21 休館日	22	23 茶道 13:30~15:30	24 クラフト手芸 13:00~15:00	25	26 さわやか 健康体操 13:30~15:30 南子ども会 19:30~20:30	27 休館日
28 休館日	29	30				

健康教室

【日時】 7月6日(月) 10:00~11:00

【場所】 大町会館2階 大会議室

【講師】 済生会西条病院 理学療法士

【内容】 「腰痛さん、さようなら！」
腰痛を予防するためのお話と体操です。
動きやすい服装で、ご参加ください。

ミニ展示 大募集!!

大町会館ロビーで、
皆さんの作品
(手作り作品、コレクションなど)を
展示してみませんか？

*お気軽にお問合せください。
☎0897-55-5393

大町会館だより6月号

2026(令和8)年6月 No.314
発行:西条市大町会館

〒793-0035 西条市福武甲1644-1
TEL・FAX (0897) 55-5393
E-mail omachikaikan@saijo-city.jp



6月は、「プライド月間」



6月は、世界各地で「プライド月間」とされ、性的マイノリティ(LGBTQ+)の人々の人権について考える取組が行われています。

私たちの社会には、性別や生き方、考え方など、さまざまな「違い」を持つ人が暮らしています。しかし、その違いを理由に、学校や職場、地域で困難を抱えたり、傷つく言葉を投げかけられたりする人がいるのも現実です。「自分と違う」というだけで排除されることがない社会、誰もが安心して自分らしく暮らせる社会をつくることは、特別な人のためではなく、**私たち一人ひとりの人権を守ることにつながっています。**

人権は、遠い話題ではありません。日々のあいさつ、言葉づかい、相手の立場を想像すること。その小さな積み重ねが、差別のない地域づくりの第一歩になります。今月は、身近な「多様性」について、少し立ち止まって考えてみませんか。

Q:「LGBTQ+」とは？

性的指向や性自認に関する多様なあり方を表す言葉で、誰もが持つ「その人らしさ」の一つです。

次に紹介するのは、西条市の小・中学生が「性の多様性」を学習する時の教材として読まれている、絵本「りつとにじのたね」です。

くまの国に住む小学生の「りつ」は、かわいい服やものが大好きな男の子です。同級生たちは、そんな「りつ」を笑います。「ぼくは、すきなものを すきって いいただけなのに……」

傷ついた「りつ」は、くまの国から旅立ちます。

様々な国を巡った「りつ」は、自分らしさを受け入れてくれる「にじの国」で、ねずみの「チウ」と出会い自信を取り戻します…

「自分は普通と違う」と思い込んで悩んでいる子どもたちに、『そのままがいいよ』『ちがうことは すてきなことだよ』と、ありのままの自分を愛することの大切さを伝えてくれる本です。

「りつとにじのたね」は、大町会館に入ってすぐにある「ピンク電話」の横に置いてあります。ぜひ、手に取って読んでみてください。



～毎月10日は人権を考える日～

「戦争は最大の人権侵害」である

先日の新聞に、東京都武蔵野市の松田春廣さん(100歳)が、徴兵検査の日に味わった「屈辱」を80年以上経った今でも覚えているという記事があった。1925年、6人兄弟の3番目に生まれて脳性麻痺で手足に不自由があり、言葉を発することにも困難があった。そのため、両親はよく松田さんを背負って映画や公園に連れていき、可愛がってくれたという。そんな生活の中、戦争が忍び寄った。1944年、徴兵検査を受けるため、父親に背負われて会場に向かったそうだ。会場の検査官には「天皇陛下のためだから」と言われ、ほかの数十人と一緒に裸になり、2時間ほどあちこちを調べられた。結果は「兵役に適さない」とされる区分の「丁種」だったそうだ。松田さんは、「それはとても恥ずかしいことであって、私は悔しい思いをした」と肢体障害者による戦争体験証言集「米食い虫、非国民とのしられながら」(全国肢体障害者団体連絡協議会 2004年)で、この時のことをこう回顧している。なぜわざわざ検査を受け、「不合格」という辱めを受けなければならなかったのか。検査への疑問を何度も口にしたとのこと。戦時中には、このようなことが全国で行われたのであろうと想像する。

当時、人権というものが考えられていたのでしょうか。否である。そこには、お国の役に立つか、立たないか、そんな基準で人としての価値がはかられ、ふるい分けられたということだ。戦争は、何の恨みもない人と人が殺し合う。戦争では、戦争している理由さえ分からない子どもたちまで巻き込まれて殺される。あってはならないことが行われるのが、戦争だ。第二次世界大戦後、国際連合が結成され「世界人権宣言」が掲げられ、日本では「基本的人権の尊重」、「平和主義」、「国民主権」を軸とした「日本国憲法」が制定された。これらは、戦争の惨禍を二度と起こさないようにとつくられたものだ。そして、人間が人間らしく生きていくために必要な「人権」について規定している。

世界情勢を見ると、安易に他国を非難したり、攻撃をしたりする傾向にあると思われてならない。これでいいのだろうか、不安になる。一人ひとりが真剣に「人権」について考える時がきているのではないだろうか。ある講演会で講師から聞いた言葉を思い出す。『人権は、「家族」や「健康」などと同じく、失ってみて初めて、その大切さを実感できるものです。』しかし、失ってからでは遅いのだ。一人ひとりが、責任をもって考えていかなければならない。

(出典:朝日新聞 2026年3月22日)

西条市人権教育協議会 西条市人権共生課



令和8年度子ども会開講式

「令和8年度子ども会」の開講式が行われました。会員の子どもたちに加わって保護者の皆さま、校長先生をはじめ、小中学校の先生方が参加し、新しい一年の始まりを迎えました。初めは少し緊張した様子の子どもたちでしたが、自己紹介やモルック大会、絵本の読み聞かせを通して、次第に笑顔が広がっていきました。今年度も子ども会では、県内外研修や、学習会など、さまざまな活動を予定しています。子どもたちが協力し合いながら、思いやりの心や自主性を育ててくれることを期待しています。

保護者の皆さま、地域の皆さまには、今年度も子ども会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4月25日(土) 神戸コスモス子ども会開講式



館長が絵本(りつとにじのたね)の読み聞かせをしてくださいました。大人も子どもも、絵本の世界に入り込み幸福感に包まれました。

4月26日(日) 大町合同子ども会開講式



神戸コスモス子ども会で、盛り上がった『モルック大会』!!大町合同子ども会でも、大変盛り上がりました。たくさん笑った後は、絵本の読み聞かせで、心も体もすっきりとした時間を過ごしました。

令和8年度大町会館スローガン募集



大町会館では、毎年「大町会館スローガン」を掲げて、各活動に取り組んできました。今年度は、「大町会館スローガン」を、会館を利用してくださる皆さんに、広く募集したいと思います。大町会館での活動や学びが、豊かで生き生きとしたものになるように、私たちの「スローガン」をお寄せください。

締め切り:6月30日(火)

- 応募方法:応募用紙は、大町会館ロビーにあります。※お電話での応募も可能です。

お申込み、お問い合わせは大町会館まで(0897-55-5393)